

LGBT 人権研究グループ Keiwa-sign

公開セミナー

LGBT 人権研究グループ Keiwa-sign は LGBT についての理解を深め、差別をなくすための活動をしています。

今回は「さまざまな立場から LGBT を知る」ことをテーマに、公開セミナーを開催します。

敬和学園大学教授陣の専門的観点から、LGBT についての知識を深めてみませんか。

第一回

精神分析における

『セクシャリティー』

6月8日(水)18時00分～19時30分

精神分析の立場からセクシャリティー（人間の性行動）を考えてみます。

ジャック・ラカンのセクシャリティー理論は、とくに1975年以降、社会的規範にかかわる「ジェンダー」ではなく「享楽 (jouissance)」を軸として、対立概念にもとづく「記号（言語・象徴）領域」からいかなる記号でも表現できない「現実領域」へとシフトします。記号が男/女の性差を生むの対して「享楽」は、性の多様な在り方を暗示します。



講師
教授 佐藤 渉

第二回

ナショナリズム・軍隊

・セクシュアリティ

～ドイツ史を例に～

6月29日(水)18時00分～19時30分

国家住民は自分の属する国家の政治に参加する権利と国家を守る義務を併せ持つ——これは、19、20世紀の近代国民国家に共通の原則です。ここにはつい見落とししがちな、重要な意味が見え隠れしています。まず住民とは男子だけ。つぎに政治に参加するのは兵役義務を負う。ということは、国防任務に就かない女性には政治参加の権利がない。つまり、国民国家は男女の厳格な差異化の上に成り立っている。いや、差異化を再生産さえするのです。しかも、ある国家に属するか属しないか、男であるか女であるかは明確に区別される。曖昧領域は認められない。今日は国民軍隊の理想と現実に着目しながら、ナショナリズム、ジェンダーの問題を考えてみましょう。



講師
教授 丸島 宏太

会場 敬和学園大学 S21 教室

参加費 無料

申込 不要

敬和学園大学

〒957-8585 新発田市富塚 1270

お問い合わせは

敬和学園大学
教務課学生係

FAX .0254-26-3646

☎ 0254-26-2509

E-mail: keiwa-sign@keiwa-c.ac.jp